

いばらきのお菓子づくりプロジェクト

宇津野 典彦* 石井 英統**

1. はじめに

茨城県には栗、メロンなど日本一の生産高を誇る農産物がたくさんある。しかし、これらの農産物の知名度は残念ながらあまり高くなく、全国的な特産品もそれほど多くないのが現状である。特に栗は、茨城県内で年間約五千トンの生産量(全国の約24%:表1参照)があるにも関わらず、茨城の地名は栗の産地としてはあまり定着しておらず、栗で有名な他県の地域に茨城の栗が流れていってしまっているのが実状である。

そこで、茨城の栗を全国にPRするため、茨城県菓子工業組合、事務局である県産業技術課を中心とした各関係機関と協力し、茨城県産の栗を使用した、いばらきブランドの新銘菓を開発することとなった。

表1 平成19年度都道府県別栗出荷量¹⁾

都道府県	収穫量 (t)	割合 (%)
茨城県	5,350	24.2
熊本県	3,000	13.6
愛媛県	1,690	7.6
岐阜県	1,030	4.7
埼玉県	748	3.4
全国収穫量	22,100	

2. 目的

栗を利用したいばらきブランドの新銘菓を開発し、菓子製造業者を中心とした県内食品加工業の振興及び県内農産物の新たな需要創出による農業の振興を図ることを目的とする。

また、平成20年度に兵庫県姫路市において開催される全国菓子大博覧会に本プロジェクトで開発した栗菓子を出展し、全国に茨城の栗を広くPRすることも目的とする。

3. プロジェクト体制

茨城県菓子工業組合及び事務局である県産業技術課を中心としたメンバー構成のもとプロジェクトを実施した。

プロジェクト内で随時「いばらきのお菓子づくり研究会」及び「いばらきのお菓子づくり研究会開発部会」を開催し、会議による検討を重ねながら栗の新銘菓開発を進めていった。新銘菓開発については、図1のような流れで進めていくこととなった。

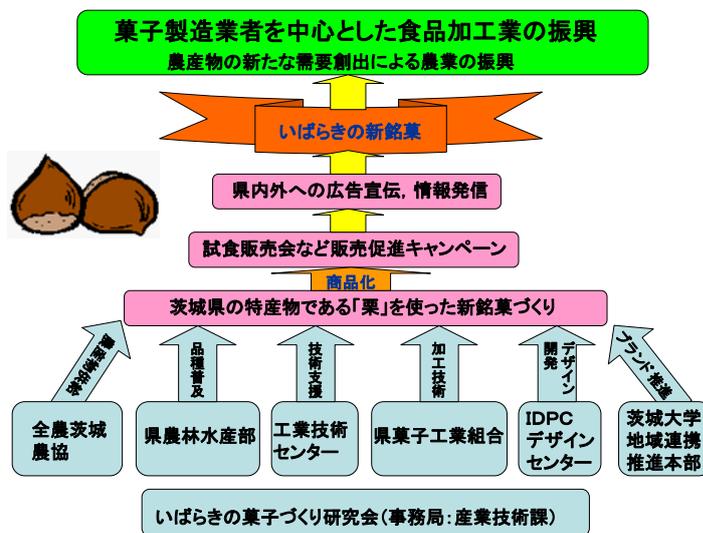


図1 いばらきの新銘菓開発フロー図

4. 結果

4.1 「栗の新銘菓」候補 試食評価会

茨城県菓子工業組合により試作された14品の栗菓子から、栗の新銘菓とする候補作品を絞り込むため、事前に募集したモニター及び一般向けの試食会を、茨城町にある「ポケットファームどきどき」において開催した。モニター試食者には、それぞれの栗菓子候補作品について、

- (1) 色 (2) 大きさ (3) 形
- (4) 香り (5) 食感 (6) 食べやすさ
- (7) 栗の存在感 (8) 栗の風味
- (9) 「茨城の新銘菓」らしさ (10) 総合評価

の10項目において、5段階評定で点数を付けて評価してもらい、一般の試食者にはアンケート方式で評価してもらった(図2)。得られた結果を点数化して集計し、総合得点の高かった3品を新銘菓の候補作品にすることとなった。



図2 一般試食会様子

*地場食品部門

**茨城県産業技術課

その結果、

- ① 栗のプリン
- ② 栗の焼き菓子
- ③ 栗の餅大福

の3品が選ばれ、この作品をベースに新銘菓完成へ向け改良していくこととなった。

4.2 新銘菓完成

試食会により選ばれた3品について、菓子工業組合員及びデザイン担当者等が3班に分かれておのこの候補作品について改良を実施し、新銘菓を完成させた(図3, 4, 5)。また栗菓子の改良と同時に、茨城デザイン振興協議会によるパッケージ等に関するデザイン開発も同時に進められ、パッケージも含めたいばらきブランドの新銘菓を完成させた(図6, 7)。

完成した栗菓子のブランド名を、茨城県が常陸風土記において「常世の国」と呼ばれていたことなどから「とこよの國」とし、栗菓子については、一つの栗のイガの中に三つの栗が入っている様子を「三ツ栗」ということから、3種類の栗菓子をもじって「いばらき三ツ栗」を新栗菓子の名称とした。



図3 三ツ栗 プリン



図4 三ツ栗 焼き菓子



図5 三ツ栗 餅



図6 いばらき三ツ栗



図7 いばらき三ツ栗パッケージデザイン外観

4.3 全国菓子大博覧会

全国菓子大博覧会は、4～5年に1度全国各地で開催されるお菓子の祭典で、日本各地から集まったお菓子の展示や販売などが行われる博覧会である。また、博覧会の中で優秀な菓子作品には、皇族から授与される名誉総裁賞をはじめとして、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞などが授与され、各賞を受賞することが菓子業界で栄誉なこととされている。

平成20年4月18日～5月11日の期間に兵庫県姫路市においてこの博覧会が開催されたため、本プロジェクトで開発した新栗菓子も博覧会内の「日本縦断！お菓子めぐり館」内に出展した(図8参照)。

その結果、菓子大博覧会で最高の賞とされる名誉総裁賞(文化部門)を受賞(図9)することができ、「いばらき三ツ栗」を全国に広くPRすることが出来た。



図8 全国菓子大博覧会での展示状況



図9 名誉総裁賞(文化部門)賞状

5. まとめ

いばらきブランドの新銘菓「とこよの國 いばらき三ツ栗」は完成したので、今後は販路を拡大するためのPR活動や情報発信を行っていく必要がある。

栗のシーズンとなる平成20年の秋口より販売開始となるので、それまでに様々なイベントやキャンペーンを実施し、茨城県の栗に対するイメージを勝ち取っていくようプロジェクトを進めていくこととなる。

参考文献

- 1) 農林水産省統計「平成19年度西洋なし、かき、くりの収穫量及び出荷量」